

優賞

分子間力の研究

天草市立本渡中学校 2年 末永 柚夏 千原 快心
中原 和夏子 米村 えいこ

研究の目的

洗い物をしていたとき、コア同士がくついて離れなくなったり、なぜ取れなくなったりの原因が気になつたので、調べることにしました。すると水がもつ分子間力によってコア同士がくついていろいろことがわかりました。そこでこの水の分子間力は、何によって強くか、いくのか、興味がわき調べてみることにしました。

研究の方法



〈実験道具〉

- A.スライドがラス2枚
 B.キーチンペーパー^一
 C.ゴムシートをつけたダブルクリップ
 D.分銅を入れる容器
 E.ガムテープ^一
 F.水
 G.分銅
 H.タイマー
 I.はかり







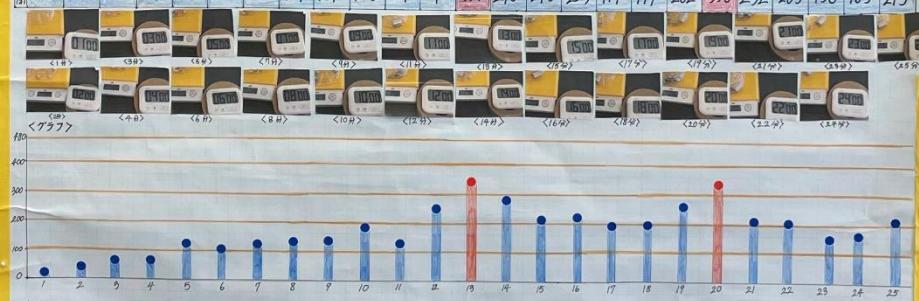
研究の結果

〈方法〉

- 方角(一)
①スライドガラスの1枚を3cm水につける
②もう1枚のスライドガラスをうるさい重ねる
③ガラスの重なった部分に実験道具Cで両側からはさむ
④1分又分3分…と時間を伸ばしていき最大25分までくっつけてておく
⑤ダブルクリップをはずす
⑥実験道具Dとスライドガラスをカムテープで固定する
⑦実験道具Dに分銅を少し入れて持ち上げる
⑧少しずつ分銅を増やしていく
⑨取れた時の重さを測る
⑩3回測った平均を求める

〈重ねる幅3cm〉

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
重複	20	44	64	67	127	113	128	134	197	183	131	248	337	278	213	928	194	197	262	336	229	305	150	165	915



〈重ねる幅4cm〉

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
莫 塞	125	113	157	187	163	142	149	160	233	256	238	170	238	283	355	240	235	402	249	189	161	156	170	167	210



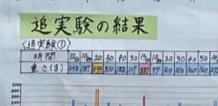
研究の考察

重なる幅3cmでは、13分と20分、4cmでは、18分の時間が分子間力が特に強くなることがわかった。そこで、その時間の前後がどうなっていふのか気になり、さらに10秒ごとに調べてみにした。

〈追室驗〉

- ① 重ねる幅3cmで1分10秒～1分50秒まで、1分10秒～20分50秒まで10秒ごとの分子間力を測定する。

② 重ねる幅4cmで1分10秒～1分50秒まで10秒ごとの分子間力を測定する。



研究のまとめ

